校長のつぶやき

かたつむり

no. 54
10/21

「ドカ点ベースボール」で大ハッスル！　～五十肩の校長と全力プレーの子供と先生～

本日、小中合同体育の授業で「特別ルールのソフトボール」が行われました。児童生徒チーム vs 教職員チームの 4 対 4 の真剣勝負です！

その名も「ドカ点ベースボール」。ティーに置いたボールを打ち、塁を進むごとに 1 点、ホームランなら一気に 4 点が入るという、ドカドカ点が入るワクワク満点のルールです。空振りは何回でも OK。体育館の 2 階ギャラリーにボールを乗せればホームランとなります。

試合は激闘となりました。児童生徒チームは、各自が豪快なホームランを放ったり、堅実な守備を見せたりと、これまでの体育の授業成果を十二分に発揮！　一方の先生チームも童心に返って大ハッスル！　しかし結果は……なんと児童生徒チームの堂々勝利となりました！

負けた先生方は「悔しい！　もう一回やりたい！」と本気で再戦を希望。児童生徒相手にも手抜きなし、勝つために全力で挑む負けず嫌いな先生方の姿は、「何事にも本気で取り組む」という学び方の素晴らしいモデルだと、校長として非常に誇らしく思いました。やはり、互いに全力でぶつかり合うからこそ、ゲームは最高に楽しいのです！

……ちなみに、校長の私も選手として参加いたしました。

しかし、事前の練習で恐ろしい事実が判明。グローブをはめてゴロをとった瞬間、その重みで「五十肩」がドカンと発動し、肩の痛みに悶絶……。結局、「素手」で守備に就く羽目になりました。先生方には申し訳ないと思いつつも、手足が思うように動かないため全力疾走は泣く泣く断念。せめて打撃だけでもと、ステージ狙い一本で4打席に立ちましたが、一度も打ち込むことはできませんでした（無念！）。

それでも、数年ぶりに児童生徒役として体育の授業に混ざり、みんなと汗を流せたことには大きな意義があったと感じています。

これからも自分の年齢をしっかり自認し、体を過信することなく、家族のために命を守る安全運転の範囲内で（笑）、子供たちと一緒に全力で学校生活を楽しんでいきたいと思います！

